



9月号 第59号

発行日 : 2021年8月20日

発行 : 虹技株式会社

環境安全管理部 環境管理G

姫路市大津区勘兵衛町4丁目1

☎ 079-236-3224

## 集中豪雨

という言葉は最近あまり聞かなくなりましたが、昔は大雨の事をこう呼んでいました。お盆休みの間は、日本中で豪雨警報が出まくっていたので、屋外への行楽に行けず残念でした。ゆめさきの森も、豪雨で身動きが取れなかったようです。画像は公園の真ん中にある通宝寺池ですが、あっという間に満水になって煙っています。



今回のタイトルバックは、小さなセミ、ニイニゼミです。全長2cmくらいで、幅広の丸っこい背中にWマークが特徴です。名前は鳴き声から来ているようですがどう聞いても「ニイニイ」とは聞こえず「チー・・・、シー・・・」と鳴きます。

ところで、セミと言えば、ミンミンゼミですが、こちらの平地にいませんよね。クマゼミの「シャーシャー」ばかり。ところが関東の平地ではミンミンゼミばかりです。ドラマやアニメで夏の効果音にミンミンゼミが使われるのは舞台が関東だから。それが西日本や日本海側ならばクマゼミでないとおかしいわけです。でね、このクマゼミとミンミンゼミの鳴き声は明らかに違って聞こえますが、じつは、同じなんだから。クマゼミの「シャーシャー」を録音してスロー再生するとミンミンゼミの鳴き声になるそうです。どうしてなのか、それが自然の不思議です。



上は可憐なクサギの花。花びらはユリのような良い香りがするのに、クサギの漢字は「臭木」。葉っぱがすんごく臭いという落葉低木なのです。例えると、カメムシっぽい匂いで嗅ぐと、ほとんどの人が「うえっ」となっちゃいます。

つづいてのご紹介は、ヘクソカズラの花です。花弁の内側の芯までも真っ赤な可憐な花で、サオトメカズラなんて別名もあるのですが、これまた葉や茎をつぶすと強烈なウンチ臭を放つことから「屁糞葛」の漢字が当てられます。まさか花に表現する単語とは思えないですね。万葉集にも屎葛（くそかずら）としてやんごとなき歌に詠まれていて、「屁糞葛も花盛り」なんて諺もある。意味は「鬼も十八、番茶も出鼻」と同じ意味。なんだかひどいですね。



# 環境爺(びびい)のつぶやきコラム



ぶつぶつ

ジジイが集まると、病気自慢が話のマクラじゃ。誰が一番重篤な病気かで競い合って大盛り上がりするものじゃ。わしゃ1年ほど前から両手の母指CM関節炎症を起こしての、痛いんじゃないこれが。年寄りがよく親指にサポーターをはめていたりするじゃろう。あれじゃよ。ビンの蓋が開けづらく、菓子袋も開けれん。参ったなあと思っておったが、最近さらに右手首に痛みが走り始め、ドアノブも回すのが痛い。医者に行ったらTFCC損傷という症状らしい。難し気な名前じゃが、要するに加齢で関節部が変形したり砕けたりしとるんじゃないと。ああ、何たる理不尽。こうして、徐々に徐々に老化が進み、できることが段々減っていくんじゃない。若者たちよ、いずれ皆も行く道じゃ。お年寄りにはやさしくね。

業部会報告書が公表されたのじゃ。おさらいをしておくと、IPCCは1988年に国連が主となって設立し、地球温暖化の研究を集めて整理する機関のことじゃ。数年おきに評価報告書なるものが公表され、国際政治および各国の政策に強い影響を与えておるんじゃ。過去に5回、今回が6回目の評価報告書じゃ。以前にも言ったが、その報告書の冒頭文の変化を下に。これが面白い。

「温暖化ガスが気候変化を生じさせるおそれがある」  
「人為的影響が気候に現れている」  
「温暖化は温室効果ガスの可能性が高い」  
「可能性が非常に高い」

「可能性が極めて高い」

と変化してきて、そして今回は、

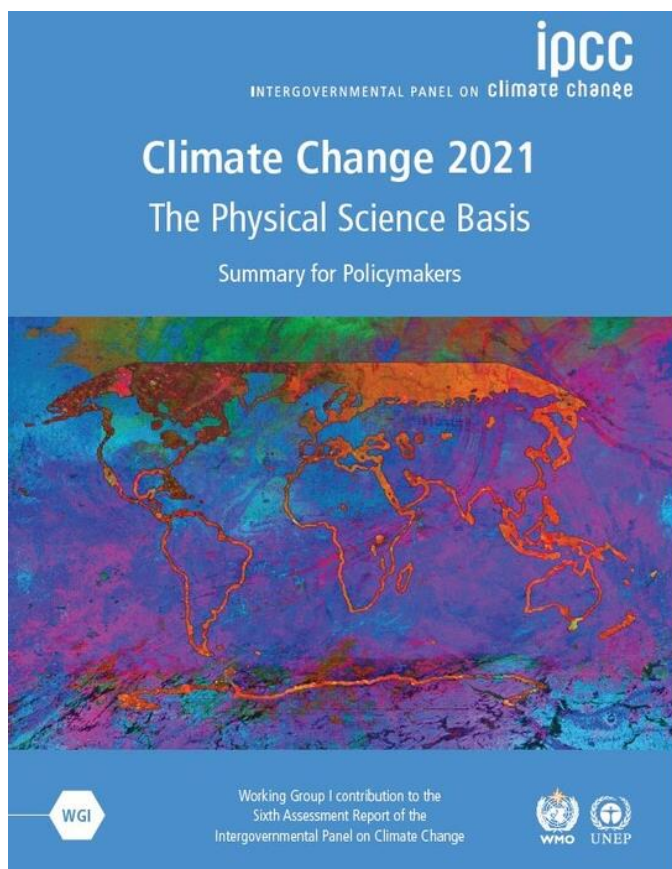
**「人間の影響が大気、海洋および陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」**

と、ドドーンと大花火を打ち上げましたぞ。

どっかで聞いたことがある言い回しじゃなと思っ  
て記憶をたどったら、そう、我らの山本社長がTV番組「なんでも鑑定団」で偽ユトリロを本物であると断言した時の言葉じゃ。懐かしいのお〜。

ところがじゃ、わしゃ最近温暖化懐疑説の本を読み漁っておっての、そのことはちょくちょくつぶやいて来たが、昔ほどIPCC報告書に感化されんようになっておるな。も少し、自分の体験や感覚を大事にすべきかなと思うのじゃ。なるほど、温暖化はしておるじゃろう。CO<sub>2</sub>をはじめとする温暖化効果ガスの影響もなくはないじゃろう。それによって気候変動を起こすというのも可能性としてないわけではないじゃろう。

しかし、それが故に気象変動を原因とした大災害が



とまあ、病気自慢で始めたが、この夏は、オリンピック、コロナ、土砂・洪水災害の話題で埋め尽くされまったくもって目立たなんだが、8月9日にIPCC(気候変動に関する政府間パネル)の第6次の第1作

起きるとか、大飢饉が巻き起こるとか、人類滅亡への道を転がり落ちるといのは、科学的根拠が乏しすぎるように思うのじゃ。最近の風潮として、何でもかんでも温暖化のせいじゃとマスコミは取り上げるが、わしゃそうは思わん。

例えば、このお盆に日本列島を襲った豪雨じゃが、これしきの豪雨は珍しくもない。わしゃ神戸の出じゃが、昭和に3度、神戸は大水害に襲われておる。坂ばかりで水はけのよい神戸でも昭和13年の大水害では土石流を伴う鉄砲水で死者600人、被災家屋9万戸という壊滅的な被害をもたらした。



台風で言うと、日本で有名な台風はいくつもある。室戸台風、枕崎台風を筆頭に、伊勢湾台風なんぞ死者・行方不明者がなんと5000人、全半壊住宅15万戸、浸水家屋36万戸の大災害じゃ。阪神大震災並みじゃ。どれも温暖化以前の事じゃ。

マスコミは何でも温暖化による異常気象が災害をもたらしたと関連付けるが、土砂災害の原因は土砂が出る場所に家を建てておるからじゃ。洪水災害の原因も洪水となる可能性のある低地に家を建てておるからじゃ。根本原因は自然ではなく、無理やりな土地開発によるところの人災じゃよ。

津波の被害にしても、先人がここから下に家を建ててはならぬと石碑に記しておるのに、それを無視して市街化開発をしたのが原因じゃ。自然が刃をむいたのが原因ではなく、刃をむくことがある自然への恐れと畏敬の念を忘れた人間の愚かさや傲慢が招いたのじゃ。

なのに、温暖化は人間の経済活動が原因だとは少々思いあがってはおらんかの。

暑さにしても寒さにしても、昔からまだら模様じゃった。すごい暑い夏もあればそうでない夏もあった。「昔はこんなに暑くなかった」という年寄りも、ぼけてちょっと記憶を失っておるのじゃな。夏は暑いもんじゃ。むしろ寒い夏の方が問題で、宮沢賢治も「サムサノナツハオロオロアルキ」と詩っとるじゃろう。冷夏は致命的な不作をもたらす。

冬も同じじゃ、凍てつく日もあれば穏やかな日もあったわい。今どきのニュースでは、豪雪も雪不足も、温暖化が原因だと言いよる。そらおかしいやろ。

前にも言うたが、温暖化防止と脱炭素は、気候変動問題ではなくなっておる。国際政治・経済問題じゃ。CSR（企業の社会的責任）やSDGs（持続可能な開発目標）と同じじゃ。

わしゃ思うのじゃがな、これは国連の行き詰った国際平和活動への起死回生の奥の手ではなかろうかと。国連は第2次世界大戦の大いなる反省のもとに設立された国際機関じゃ。二度と再び世界大戦を起こさぬというのが最大の目的じゃ。しかし、世界は平和になるところか貧富格差が広がり、地域間戦争はあちこちで起こり続けて泥沼化しておる。国連としてはお手上げ状態なのを何とかしようと、富の再配分をもくろんで、経済の根幹をなすエネルギー問題をちゃび台返しするつもりではなかろうかのう。産油国とメジャーをひっくり返して、富を再配分し飢餓・紛争をなくすという思惑が温暖化問題の背骨じゃなかろうか。

とまあ、今回は少々重苦しい話となってしまうたの。しかし、わしの頭が考えたことじゃから、これもええ加減なもんじゃ。それでもな、コロナも温暖化も防災も、政府とマスコミの言うことを鵜呑みにせずしっかりと考えるべき問題じゃと思うぞ。IPCCの報告書はこれから第2作業部会と第3作業部会の報告書が続いて出てくるので、それを読み込んでからまた、つぶやくとしよう。報告書が本物か、TV鑑定のよように額1000円のニセモノと出るか、鑑定やいかに・・・。

ぶつぶつ

## 虹の森なう

8月は整備活動はお休みで、「良い子のためのアユのつかみ取り」に力を注ぐ予定でしたが、これまた、兵庫県のまん坊措置が8月2日から出てしまい、あっさり中止の憂き目にあってしまいました。斎藤新知事も就任と同時に初仕事がコロナ対策とはね。楽しみにしてくれていたちびっ子たちはさぞかしガッカリだったでしょうね。



さて、お盆の雨のあとに森の様子を見てきました。台風の時ほどではないものの、森全体が散らかっちゃってお掃除しなくっちゃね。でも、気温がすいぶんと低くなり、ヒグラシとニイニイゼミの合唱が涼しさを倍増させてくれます。平地ではないミンミンゼミもここでは鳴いており、いい感じで夏の終わりを告げてくれています。

森全体は、しっとりと水分を吸ったやさしい空気に満ち満ちていました。9月の活動は掃除をしてから、ゆるゆると新しいデッキづくりをすることになるかな。

例年ならトリカブトの花が咲いていたりするのだけど、今回は長雨のあとだからか、花は見つかりませんでした。でも下草があまり生えていなくて、スキッとした感じです。涼しくなったらヤマビルも出なくなるし、活動はしやすくなるはず。

改めて虹の森の看板を見たら、2016年4月となっています。ひょうご企業の森として正式に活動を始めてから5年。プレ活動期間の1年間を合わせ



ると、もう6年になります。最初のころの森がどんだけだったかももう忘れちゃいましたが、何しろブッシュだらけのやぶ林だったはず。今、森の中心部に立って周りを見渡すと、視界の届く範囲は全て下草ややぶが刈り払われた立派な里山として再生できているのではないかなと自画自賛しちゃいます。

問題は、ホダ木となる若いコナラがなくなっちゃったことぐらいかな。今年の、シイタケ栽培はホダ木を買うしかないのかなぁ・・・

## 第70回 森林整備の案内と参加者募集

あっという間に、秋の気配を感じる季節になりそうです。ヤマビルも少なくなっているでしょうし気温も下がっていい季節になっているはず。台風なんかが来なければ、楽しく活動できる季節です。ゆるゆるとデッキづくりをしながら楽しみましょう。

**日時：** 9月11日(土) 10:00~15:00 (9:30公園駐車場集合)

**場所：** 県立ゆめさきの森公園(虹の森)

**申し込み：** 参加希望者は、環境管理G 的場まで、またはお近くにいるメンバーまで連絡ください。

的場ケータイ：090-5979-8385

メンバーの方はショートメール等で参加の可否を連絡いただければありがたいです。

初めて参加される方は、保険に加入しますのでお名前、住所、ケータイ番号を連絡ください。

※小雨は決行。天候が荒れそうな場合は前日夕方に、中止の案内を送信いたします。